

ひょうごフィールドパビリオン

Tajima
(但馬)



Tamba
(丹波)

企画展

たくみ

ひょうごの匠展

—来て・見て・感じて ひょうごフィールドパビリオン—



Harima
(播磨)



Settsu
(摂津)



Awaji
(淡路)

2023年 11月 11日(土) ~ 2024年 1月 8日(月・祝)

観覧時間：9時30分～17時(開館は9時から。最終入館は16時30分まで) 休館日：月曜日(祝休日の場合は翌日)

観覧料：大人 800円 / 大学生 600円 / シニア(70歳以上) 400円 / 高校生以下無料 (※常設展、初代県庁館観覧料含む)

企画展をご覧の大学生以上の方には・・・

兵庫県産の「何か」をプレゼント!

主催：兵庫県立兵庫津ミュージアム

後援：兵庫県 / 兵庫県教育委員会 / NHK神戸放送局 / サンテレビジョン / ラジオ関西



兵庫県立兵庫津ミュージアム
Hyogo Prefectural Hyogo-no-Tsu Museum

〒652-0844 兵庫県神戸市兵庫区中之島2丁目2-1

TEL : 078-651-1868 FAX : 078-651-1869

<http://hyogo-no-tsu.jp>



当館へは神戸市バス・神戸市営地下鉄海岸線をご利用ください。

海岸線各駅では観覧券付きの神戸市営地下鉄海岸線「中央市場前」駅より徒歩5分お得な乗車券を発売中!



JR「兵庫」駅より徒歩20分

金物の街 三木市から

かなものわし
金物鷲がやってくる!

11/23 (木・祝) ~ 12/10 (日)

のこぎりや刃物を約 3300 本使った

全長約 5.5 メートルの

金物鷲が登場!



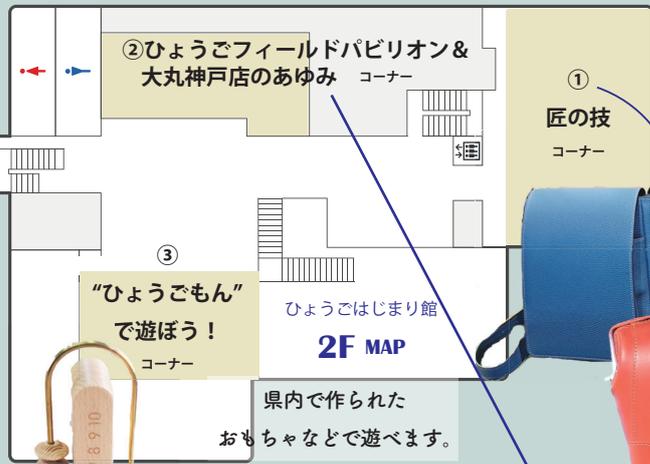
匠による

ライブパフォーマンス

11/23 (木・祝) 制作

12/10 (日) 解体

予約不要でご自由にご覧いただけます。



この展覧会では、

摂津・播磨・但馬・丹波・淡路という
特色ある「ひょうご五国」の
各地域で根付いた地場産品や工芸品を
ご紹介いたします。
手から手へと伝えられた
技術と創造力が融合した作品を
お楽しみください。

県内の
職人たちの技を
作品や動画を通して
紹介。

ひょうごフィールド

2025年の大阪・関西万博を機に
県全体をパビリオンに見立て
県内各地域の
「活動の現場(フィールド)」を
地域の方々が主体となって発信し、
多くの人に来て、見て、学び、
体験していただく
プログラム

各地域の
フィールド
パビリオンの
様子を
紹介します。

大丸神戸店のあゆみ



その外観の美しさから
映画やドラマのロケ地にもなり
地元で愛され続ける大丸神戸店。
江戸時代に呉服商として
兵庫津に出店し
その後元町に移転。
今もなお、兵庫県と神戸の魅力
を発信し続ける大丸神戸店の歴史を
写真パネルで振り返ります。

ワークショップ

包丁も入る!

2つ折り
まな板づくり体験や
かな削りや
革の端材で
根付づくり
なども体験できる!

※内容は変更になる
場合もあります。

期間中はさまざまな
ワークショップも
開催予定。
日程や申込方法など
ホームページで
公開中!



最新の情報は
こちらから

Q. これは何でしょう?



答えは会場で!

ひょうご五国のものを
買えるコーナーも
あるよ!

